

平成23年度事業計画

●あいのりタクシー「ももたろう号」について

- 事業主体 : 田原本町商工会
運行主体 : 西村タクシー有限会社
事業概要 : 町内各地と田原本駅や町役場等の町の中心部や医療・商業施設等とを結ぶ
新たなデマンドタクシーの運行
運行形態 : 区域運行(デマンド型乗合タクシー)
運行エリア : 田原本町内全域を運行
運行車両 : セダン型中型タクシー 1台(予備1台)
デマンドタクシーとわかるように、車両の両側にマグネットシート等でわかりやすく表示する。
停留所 : 商業施設, 医療施設, 公共施設, 町内の鉄道駅等
各自治会に設置 (H23/4/1 現在160カ所)
運行方法 : 予約による時間固定型。利用者が乗り合いにより、目的地まで運行
運行日 : 月曜日から金曜日までの週5日間
(土・日祝及び年末年始(12月29日から翌年1月3日)は運休)
運行時間帯ダイヤ : 午前9時から午後4時まで
毎時00分運行 田原本駅前広場発(※予約がなければ運行しない)
料金 : 1回乗車につき300円(小学生は150円)小学生未満無料
利用対象者 : 田原本町民で、1人でタクシーに乗り降りできる方
(介護が必要な方は介護者同伴、及び小学生未満は保護者同伴)
予約方法 : 利用者は事前に登録の申請を行い、登録者のみが予約可能
予約は、7日前から利用日前日の午後4時までに予約をする。
配車システム : 既存のタクシー事業者のシステムを活用
実証運行 : 平成23年4月1日～平成24年3月末

◆検討事項(平成24年度本格運行に向けて(注))

通常のタクシーとの住み分けを考慮しつつ、「ぼちぼち便利」な「ももたろう号」として利用いただけるよう、そして持続可能な公共交通として次の事項を検討する。

- ・予約の方法等について
- ・運行時間帯等について
- ・事業経費の削減及びその他収入の方策

◆利用促進のため、デマンドタクシー全般について定期的に広報やホームページ等でPRを実施。特に、まだ利用されていない自治会に対して回覧等でPRを強化。

(注)当初計画では3年間の実証運行としていたが、国の施策が変更になったため、本年度で実証運行は終了する。

●国保中央病院線の利用促進

事業目的:国保中央病院線は利用者が減少の一途をたどっている。利用のパターンは、午前は駅から病院、午後は病院から駅への利用であり、朝夕は病院の職員が主に利用している。

国保中央病院線の利用促進策として、駅と国保中央病院の間に位置する集落住民の利用が挙げられる。住民の交通行動を考えた場合、朝夕を除いた時間帯に駅へのアクセスが多くなっており利用が想定される。これらを踏まえて利用促進策の検討を行う。

◆ターゲット

- ・ 地元住民(西竹田、十六面、平野、薬王寺、三笠等の国保中央病院沿線)の利用促進を図る。

◆事業概要

路線の変更

- ・ 従来の同じ路線を往復運行するだけでなく、田原本バスセンターを中心とした新たな路線を設定し、周回運行に変更し利用促進を図る。

バス停の新設

- ・ 周回路線上に位置する集落に、地元との協議のうえバス停を設置する。

運行方法

- ・ 基本的に、現在主に利用されている便を維持しながら、田原本バスセンター、薬王寺北、国保中央病院、西竹田、平野、薬王寺南、田原本バスセンターの順で運行する。
- ・ 周回運行に伴うダイヤの見直しを検討。(近鉄線との連絡等)

運賃

- ・ 現在の料金を基本として運賃設定を行う。

試行期間(予定)

- ・ 本年度下半期中の実証運行

検討事項

- ・ デマンドタクシーとの整合性
- ・ 費用対効果(需要見込含む)
- ・ その他事項

以上の項目について、一定の整理を行った後、協議会にて承認を得る。また、実証運行後はPDCAサイクルを実施し次年度以降の運行を検討する。

●観光乗合タクシーについて

◆第2回モニターの実施

平成23年4月1日から4月15日まで(11日間)・・・実施済み(別紙参照)

◆実証運行

事業主体 : 田原本町観光協会

運行主体 : タクシー事業者

事業概要 : 田原本町には多くの観光資源があるが、自動車等でないと行けないところに多く立地している。観光乗合タクシーを導入することにより、1名ないし2名で来訪される観光客に対し、低料金で利用又は観光ガイドのサービス等もてなしの心を提供する。

運行エリア : 唐古・鍵考古学ミュージアムを中心としたコースを計画

(例: 黒田大塚古墳・鏡作り神社・唐古・鍵考古学ミュージアム・唐古、鍵遺跡・村屋神社・多神社)

運行車両 : セダン型中型タクシー 1台(予備1台)、定員3名

観光乗合タクシーPRも兼ね、車両の両側にマグネットシート等で表示する。

運行日 : 平成23年10・11月及び平成24年3月

(水曜日から日曜日)

運行時間 : 3時間(午前9時から12時まで)

料金 : 2,500円(小学生は1,000円)小学生未満無料



◆アンケート結果を踏まえ、田原本のまちを観光したくなるような仕掛けづくりを検討する。

・検討テーマ

「食・お土産」

以上を実施し、その結果を踏まえ、次年度以降「たわらもと」の観光戦略のアイテムとして本格実施に繋げていく。

●公共交通利用促進及び駅前活性化に向けたマップづくり

1. コンセプト

- 豊かな歴史・生活文化を活用した魅力（人・物）のPRを重視し、「ぼちぼち便利な駅前」の魅力を伝えるマップとする。
- まちを歩いてめぐる楽しさが伝わるような内容、読者が自ら関わり楽しめる内容（クイズ、ラリー等の要素）をめざす。
- 手書き風のタッチとして、子どもから大人まで編集やイラスト等の職能を活かして携われるものとし、形態はA3サイズを折込み、A6サイズ程度のコンパクトサイズとする
- 町民全体に読んでいただき駅前に来訪いただくきっかけとするが、特定ターゲットとして、子どもや高校生、子育て世代など、今後マップづくりや地域づくりの担い手となりうる層が関心を持てる打ち出し方を意識する。

2. テーマ

- 第1回のマップは「準備号」と位置づけ、「昭和レトロ」をテーマに設定し、昭和時代の魅力が感じられるまちの風情をPRする。

※準備号を通じて、町民からの意見収集、新たにマップづくり仲間（地域特派員等）を募集し、第2回以降のマップ作成に活かす。

3. 内容

- 表紙・タイトル
 - ・「ぼちぼち たわらもと」（仮称）
 - ・町民が手にとりたくなるよう、写真やイラストを工夫
- テーマ解説
 - ・読者が自ら関わり楽しめる内容（クイズ、ラリー等の要素）
- マップ
 - ・コンテンツの位置とタクシー停留所の位置関係が分かるようにする
 - ・まちめぐりの方法（自転車、タクシー等）も記載
- カタログ
 - ・マップと連動して、コンテンツの写真・解説等を入れる
- その他
 - ・今号の特派員紹介・募集
 - ・クレジット・連絡先・編集後記 等

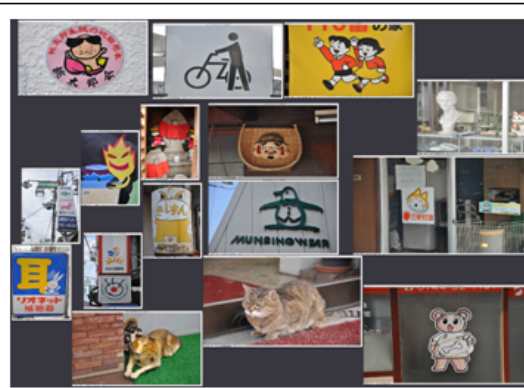


昭和パラダイス空間

田原本の歴史は古く、住む人の営みとともに、様々な生活文化が蓄積しています。歴史的なまちなみもそうですが、まちを見渡すと、古きよき昭和の時代を感じることができるポイントがあちこちに。レトロなノスタルジックな、どこか懐かしいまちをぶらり歩いてみよう。

道沿の橋も当時のスケールで、時代の事は通りにくいけど、歩く楽しみ・見る面白さがあります。近くにはイベント広場など大きな公園もあり、子どもにとってはパラダイス空間。休みの時に、子どもと手を繋いでぶらり散歩はいかがですか。

特派員
西江幸久（来訪者）



田原本駅前動物園

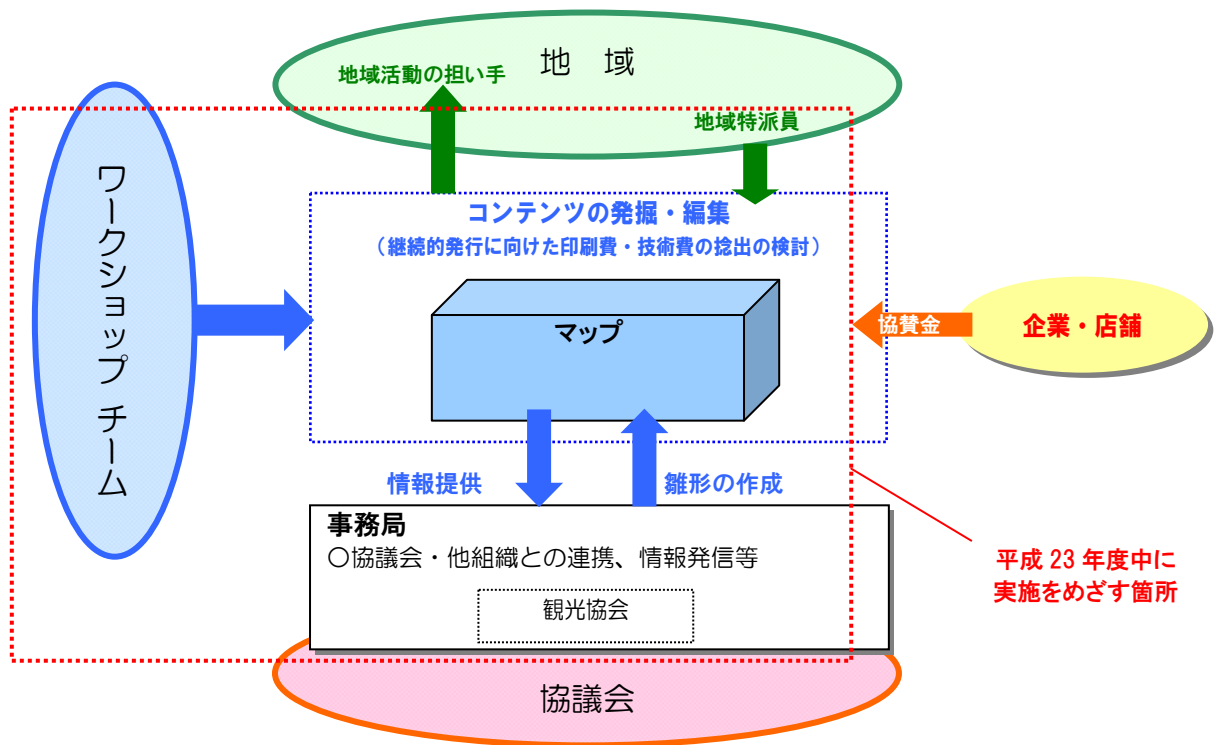
駅前のまちをぶらり歩くと、様々な動物に出会うことができます。かわいいキャラクターから、おじろさん・えびすさんなど決めのキャラクターまで、いろいろ勢ぞろい。動物を探しあてるまちめぐりも楽しそう。

駅前のまちをぶらり歩くと、様々な動物がいます。一体どれだけ動物がいるのか、みんな探してみてください。ついつい動物が観たくなった人は、田原本ペットさんに聞いてみてね。

特派員
西江幸久（来訪者）

4. 地域特派員

コンテンツの発掘・編集は、ワークショップチームメンバーのほか、地域から特派員を募集して行なう。



5. その他

- 第1回（準備号）は、概ね8～9月ごろの完成をめざす。
- 配布先・枚数については、調整中。